

令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県北会場

科目 ⑫学校・地域との連携

- ◆ 教育事務所の職員の方と日常的にふれあう機会がなく、勝手に敷居が高いものと身構えていましたが、講師の先生が気さくな方で驚きました。国や県がどのような視点で子どもの教育について考え、進んでいるかもわかり視界がクリアになった思いです。学校や地域との連携は不可欠ですが、グループワークで話し合いをすると、あまり連携はなく個々に活動している印象を受けました。もう少し一体感を持って、地域全体で子どもを見守る姿勢が大事だなと思いました。
- ◆ 人口が少なくなり学校が統廃合されたり、放課後児童クラブが閉鎖したりしていることに驚き、また、さみしいと感じました。コミュニティスクールというものができて、学校と地域に連携ができて良い関係になっているということも知りました。学校と児童クラブも連携をすることがすごく大切になってくると思いました。同じく、学校や地域との連携が進んでいったらもっといいなと感じました。
- ◆ 社会や学校、教育を取り巻く最近の動向は、めまぐるしい変化があり、抱える問題・課題は複雑化・困難化している。こういった状況、社会変化の中で地域づくりとなる地域学校協働活動は非常に重要であると私も考える。子どもの数も減り、地域住民とのつながりや学校との連携が重要であると考えており、ここでも情報共有やコミュニケーションは非常に重要であると思うので、取り組んでいきたい。
- ◆ 人とのつながりが希薄になっている中、学校が地域を巻き込んだ取組はすばらしいと思っていました。学校側・地域側の実情を学び、少子高齢化が進む中で緊急的な課題になっていると思いました。また、放課後の子どもたちにとっての居場所が、安全で健全に運営されるためにも、プライバシーを守りつつ、交流の場を広げ、体験活動ができるよう、学校、保護者、地域の方々との連携を図りながら、様々な支援をしていきたいと思いました。
- ◆ 私の働く教室は学校の中にあり、普段から情報を共有することで連携をとってきました。ただ、学校の中をお借りしているということで、自分たち独自の動きがしにくいという点もあります。現在は、学習発表会の準備などで、体育館もお借りできないという難点もあります。行動が制限されることがないようにできれば、もっと活動がしやすいのと思う場面も多いです。ただ、その難点以上に、連携が取れていることが安心に繋がっていると思ひ、保育園等とも連携が進めばいいなと思いました。